

JAWRO 企画講演とランチ会のご報告

2019年11月23日、第32回JASTRO 学術大会でJAWRO 企画公演「女性医師のキャリア支援～プロとして輝き続けるために～」をテーマに愛育病院院長 安達知子先生からご講演を頂きました。

女性医師の割合は22%と増加してきましたが、女性医師が生涯医師として勤務する上には数多くの困難が待ち受けています。安達先生はご自分のご経験を元に女性の働き方の問題点とそれに対応する支援に対し、具体的に述べるとともに、愛育病院での改善策を示されました。私自身も妊娠・出産・育児の中で医師を続けることの難しさを痛感しており、お話の一つ一つが心に響きました。

特に「学会参加や発表、座長やシンポジストの依頼、委員会や役職のオファーがあった時には、そのチャンスを断らないで欲しい。上司にはそのチャンスを女性医師に与えて欲しい。」とのお言葉は、我々女性医師が深く心に残すとともに、上司である医師に強く訴えたいと思います。

今回の公演は日本専門医機構認定講習の更新認定単位として開催されてあったためか、事務局によれば参加者は120人あまりに上り、その半数が男性医師であったことは非常に喜ばしいことでした。女子医師が働きやすい環境であれば、男性医師も当然働きやすい環境となることは間違いないことです。お互いに理解し、より良い環境を作ることは双方の利益にとって重要と考えられました。

ご講演後、安達先生を囲んでランチを頂き、楽しいひと時を過ごしました。私は安達先生と女子医大の同期で多感な6年間を共に過ごし、安達先生は産婦人科に、私は放射線科へと入局しました。個人的には出産のときは大変お世話になり、心強いドクターです。今回このような講演を企画されたJAWROの皆様のご尽力に感謝し、皆様のさらなるご活躍を祈念いたします。

文責 東京都立多摩総合医療センター 放射線科 喜多みどり